

ブック

「英語を話せるようになりたい!」と思っている人は必読である。

本書は、個人々のニーズに合わせて「効率よく英会話技術を上達させること」を目的とした学習方法について4段階の過程で書かれている。

第1講では、「英会話を学ぶ目的」に適したテキストを選定することが大切であることや、学習者のつまずきに対する対処方法として、練習と実践に活かせる具体例が以下の様に提示されている。①

スピーキング以前の壁では、語彙や文法のインプットの重要性やリスニング力を高めるための音読練習等、②スピーキング以降の壁では、表現の練習、自分の持っている知識で言葉にするという発想の転換、話すネタを収集し、パターンを知り、レスポンスを準備しておく等。第2講では、人と話をする時の基本的

関 正生 著

NHK出版新書 (565) 842円

ISBN 0570-000-321

## サバイバル英会話

「話せるアタマ」を最速でつくる



な態度、心構えについて、「おぼちゃん思考」①話しかける、②ほめる、③余計なことを言う(付け足す)が大切であることが主張されている。第3講では、前講を踏まえた「テクニク編」として、How are you? やあいづちのバリエーション、I like (①ほめ言葉の定番、②趣味や好きなものを伝える時、③何かの説明をする時)とI'm

like (相手に何か要望がある時、言いたいことがある時)、sorry (心が痛み)、thank you (①感謝を伝える、②ほめられた時、③別れ際等、様々な場面で使える表現についての慣用表現が紹介されている。第4講では、

「英会話は英語力だけでなく、個人個人のコミュニケーション力に左右される」と筆者が言及しているように、上級編として「英語らしく見せるための+α」①最初に言いたいことをまとめる、言葉を足して装飾する、②相手の名前を呼ぶ、③発音とリズムについての方略が提案されている。(愛知教育大学教授・高橋美由紀)